

電波掛時計 (HD-1688 RC sweep 共通)

このたびは、当社製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用の前に、本取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱い下さいますようお願い申し上げます。なお、本取扱説明書/保証書はお手元に保管し、必要に応じてご覧下さい。

取扱説明書

製品仕様

- 時間精度：平均月差±30秒以内（常温での使用時）
(電波時計による時刻修正を行わない場合)
- ※指針（針の表示）誤差
アナログ時計の特性上、指針誤差が生じる場合があります。
- 秒針：±1秒以内、時・分針：±3度以内
- 使用温度範囲：0°C～+40°C
- 使用推奨電池：単3形アルカリ乾電池(LR6 1.5V) 1個
※充電式電池・オキシライド乾電池・リチウム乾電池には対応しておりません。機械に不具合が起きる可能性がありますので、使用しないで下さい。
- ※アルカリ乾電池とマンガン乾電池はどちらも使用可能ですが、一般にアルカリ乾電池の方が長持ちします。
- 電池寿命：約12ヶ月(単3形アルカリ乾電池1個使用の場合)
※モニター用電池が付属している場合
付属の電池は、工場出荷時に付けられたモニター用電池ですので製品仕様の表示より寿命が短い場合があります。(モニター用電池とは、時計の機能や性能をチェックするための電池のことです。)
- ※買取置きの電池を使用した場合、保管状態や乾電池に示されている「使用推奨期限」により、電池寿命が短くなることがあります。
- 電波受信/時刻合わせ機能：
40kHz/60kHzのどちらかが受信しやすい電波を自動受信し、現在時刻に合わせます。
- 自動受信（最多8回/日）
- 手動受信
- 電波受信オン/オフ機能

●本取扱説明書の内容は改良のため、予告なく変更する場合があります。●印刷による制限のため、本取扱説明書中の図が実際の表示と異なる場合があります。●本製品によって生じたいかなる支店・損益・その他の損害に対してなら責任を負いません。●本取扱説明書を製作者の許可なく変更・複製することを禁じます。

保証・アフターサービスについて

- モニター用電池が付属している場合、電池は保証対象外です。
- 保証の内容については下記保証書をご覧下さい。
尚、保証書は日本国内のみ有効です。アフターサービスは海外ではできません。
- 次のような場合には保証期間内でも有料修理になりますのでご注意下さい。
◆本保証書の提示がない場合
◆本保証書に販売店およびお買上げ日の記載がない場合
◆誤った使用、不注意、不当な修理により生じた故障・損傷
◆改修または分解により生じた故障・損傷
◆火災や天災地変による故障・損傷
◆ご使用中に生じた傷など外観上の変化、損傷
●保証期間中・期間経過後とも、修理品はお客様がお買上げ店にお持込みいただきます。修理を依頼される場合はお買上げ店にて参考下さい。
- 修理品をお持込み・ご送付される場合の運賃・諸掛り費用は、お客様にてご負担願います。
- 修理・調整にあたって、部品・付属品などについては、一部代替部品を使用させていただくことがあります。
- 本製品、ならびにアフターサービスなどにつきましてご不明なことがございましたら、製品本体の裏面または底面に表示してあります型番をご確認の上、ノア精密㈱サービスセンターにお問い合わせ下さい。
(例：W-〇〇〇、FEWOOOなど)

ノア精密株式会社 サービスセンター
〒340-0002 埼玉県草加市青柳 6-46-1

TEL: 048-933-4080

<http://www.mag-clock.co.jp>

受付時間：月曜日～金曜日(土・日曜日、祝日、年末年始を除く)

10:00～12:00, 13:00～17:00

※住所、電話番号、受付時間などは、都合により変更される場合があります。

あらかじめご了承下さい。

保証書 GUARANTEE

お買上げ後1年間の保証期間内に取扱説明書にそった正常な使用状態で万一故障した場合には、無料で修理・調整いたします。製品と本保証書をご持参・ご提示の上、お買上げ店にご依頼下さい。尚、本保証書の発行によりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

型番	版
お買上げ日	
保証期間	お買上げ

この保証書は、
複製のため、
ご利用できません。

本保証書は日本国内のみ有効です。 (This guarantee is valid only in Japan.)

発売元 ノア精密株式会社

本社：〒111-0042 東京都台東区寿 1-6-7 ユーハイツ仲光3階

電波時計について

電波時計とは、標準電波を受信して、自動で時刻を修正する機能を持つ時計です。
電波を受信できない場合は、内蔵クォーツの精度で計時します。

標準電波について

日本標準時の時刻情報をせた標準電波は、2015年4月現在、情報通信研究機構によって運用されています。標準電波の時刻情報はセイシム原子時計により、およそ10万年に1秒の誤差という精度を保っています。標準電波送信所は福島県と九州の2カ所にあり、福島局は40kHz、九州局は60kHzの周波数で標準電波を送信しています。各送信所からの受信範囲の目安は、おおむね半径1000kmとされています。



●標準電波は、毎時15分と45分からの各1分間にコールサインの送信を行うため一部時刻情報の送信を中断します。また、送信所の設備点検や落雷などの影響により停波(送信停止)する場合があります。停波に関する情報や、標準電波についての詳しい情報は「情報通信研究機構」のホームページ内の「日本標準時グループ」を参照して下さい。

情報通信研究機構 ホームページアドレス <http://jjy.nict.go.jp>

日本国外でのご使用について

本製品は、日本の標準電波以外は受信できません。海外で使用した場合、ご使用になる場合の条件によっては、日本の標準電波を受信したり、ノイズによって誤った時刻を表示する場合があります。あらかじめご了承下さい。

■電波受信/時刻合わせ機能：

40kHz/60kHzのどちらかが受信しやすい電波を自動受信し、現在時刻に合わせます。

- 自動受信（最多8回/日）
- 手動受信

■電波受信オン/オフ機能

●本取扱説明書の内容は改良のため、予告なく変更する場合があります。●印刷による制限のため、本取扱説明書中の図が実際の表示と異なる場合があります。●本製品によって生じたいかなる支店・損益・その他の損害に対してなら責任を負いません。●本取扱説明書を製作者の許可なく変更・複製することを禁じます。

保証・アフターサービスについて

- モニター用電池が付属している場合、電池は保証対象外です。
- 保証の内容については下記保証書をご覧下さい。

尚、保証書は日本国内のみ有効です。アフターサービスは海外ではできません。

●次のような場合には保証期間内でも有料修理になりますのでご注意下さい。

- ◆本保証書の提示がない場合
- ◆本保証書に販売店およびお買上げ日の記載がない場合
- ◆誤った使用、不注意、不当な修理により生じた故障・損傷
- ◆改修または分解により生じた故障・損傷
- ◆火災や天災地変による故障・損傷
- ◆ご使用中に生じた傷など外観上の変化、損傷

●保証期間中・期間経過後とも、修理品はお客様がお買上げ店にお持込みいただきます。修理を依頼される場合はお買上げ店にて参考下さい。

- 修理品をお持込み・ご送付される場合の運賃・諸掛り費用は、お客様にてご負担願います。
- 修理・調整にあたって、部品・付属品などについては、一部代替部品を使用させていただくことがあります。

●本製品、ならびにアフターサービスなどにつきましてご不明なことがございましたら、製品本体の裏面または底面に表示してあります型番をご確認の上、ノア精密㈱サービスセンターにお問い合わせ下さい。

(例：W-〇〇〇、FEWOOOなど)

ノア精密株式会社 サービスセンター
〒340-0002 埼玉県草加市青柳 6-46-1

TEL: 048-933-4080

<http://www.mag-clock.co.jp>

受付時間：月曜日～金曜日(土・日曜日、祝日、年末年始を除く)

10:00～12:00, 13:00～17:00

※住所、電話番号、受付時間などは、都合により変更される場合があります。

あらかじめご了承下さい。

保証書 GUARANTEE

お買上げ後1年間の保証期間内に取扱説明書にそった正常な使用状態で万一故障した場合には、無料で修理・調整いたします。製品と本保証書をご持参・ご提示の上、お買上げ店にご依頼下さい。尚、本保証書の発行によりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

型番	版
お買上げ日	
保証期間	お買上げ

この保証書は、
複製のため、
ご利用できません。

本保証書は日本国内のみ有効です。 (This guarantee is valid only in Japan.)

発売元 ノア精密株式会社

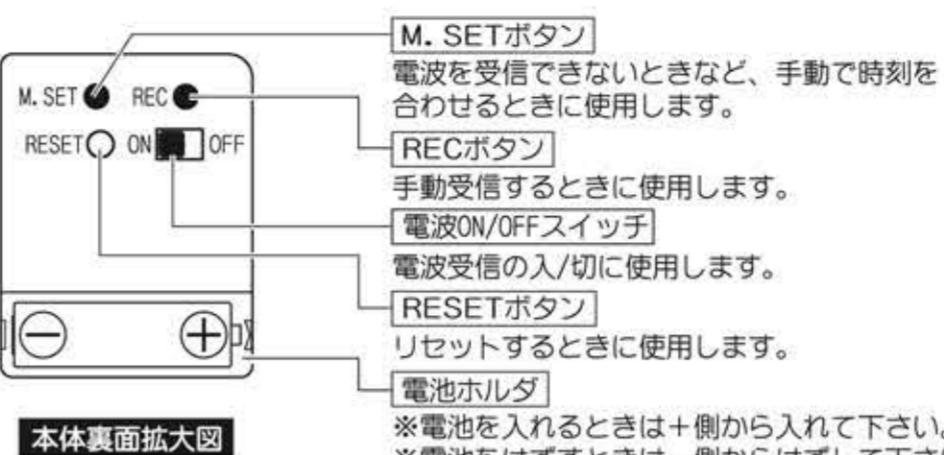
本社：〒111-0042 東京都台東区寿 1-6-7 ユーハイツ仲光3階

HD-1688 RCsweep-1601

ご使用の前に

本製品は、日本標準電波を受信して、自動で時刻を修正する機能を持つ電波時計です。操作の手順や動作などが、一般的の時計製品と異なります。本取扱説明書の「ご使用方法」に従って、正しい操作をしていただきますようお願い申し上げます。本書をお手元に保管して下さい。

各部の名称



※電池を入れるときは+側から入れて下さい。
※電池をはずすときは一側からはずして下さい。

※電池を入れるときは+側から入れて下さい。

※電波受信ON/OFF機能について

■電波自動受信または、手動受信ができる状態にする
電波ON/OFFスイッチを[ON]の位置にする。



■電波受信をしない状態にする
電波ON/OFFスイッチを[OFF]の位置にする。



※任意の時刻設定でご使用の場合は、電波ON/OFFスイッチを[OFF]にして下さい。

※電波ON/OFFスイッチを[OFF]の状態から[ON]の位置にすると電波受信状態となり、秒針が12時位置で停止し、4～16分間電波受信状態となります。

電波時計のご使用方法

電波時計としてお使いになる場合は、以下の操作をして下さい。

注意 電波受信中（受信のための時分秒針の運転中または停止中）は手動による時刻設定はできません。必ず通常の運転中に操作をして下さい。
誤動作の原因となります。

① 電波ON/OFFスイッチを[ON]にする

② 電池を入れる

単3形乾電池1個を、電池ホールダの+の表示に合わせて入れて下さい。

※絶縁紙・絶縁キャップがついている場合は、これをはずしてから電池を入れ直して下さい。

※電波ON/OFFスイッチが[OFF]の状態で電池を入れると、時・分・秒針が早回りをして12時位置で停止した後、通常の運転を始めます。

③ 初期電波受信を開始

電池を入れると電波受信状態となり、時・分・秒針が早回りをして、12時的位置で一旦停止します。

※電波受信中(4～16分間)は、針が止まつたままになりますが、故障ではありません。電波受信の結果がわかるまで、そのままお待ち下さい。

※針が停止中にM. SETボタンを3秒以上押し続けると、電波受信を終了し約30秒～1分半以内に針は12時00分00秒より運転を始めます。

針が停止中にRECボタンを押す、または電波ON/OFFスイッチを[OFF]にしても、電波受信を終了することは出来ません。

●電波受信に成功した場合、自動的に時・分・秒針を現在時刻に合わせます。

●電波受信に失敗した場合、時刻を修正しないで、針は12時00分00秒より通常の運転を始めます。

→下記【電波受信ができなかった場合は・・・】を参照して下さい。

④ 時計を掛ける

※本説明書の【時計の掛け方について】と【電波時計について】を参照して下さい。

電波受信ができなかった場合は・・・

① 一昼夜そのままにして様子を見る

夜間は比較的電波の状況が良くなりますので、受信する可能性が高くなります。

※初期受信が出来なかった場合は、1日最多8回まで自動で受信を開始します。

※電波を受信できない場合は、時計内部で計測している時間で次の自動受信時間まで通常の運転を始めます。

② 設置場所を変える

設置場所を変えて、再度受信をさせて下さい。

※設置場所を変える場合は、本取扱説明書【電波時計について】を参照して下さい。

③ 再度受信をさせる

通常